

今月の
症例

ホームページ掲載版では、症例提示を非公開としています。



Osaka Medical College
Cardiology

- 大阪医科大学附属病院 循環器内科ではお困りの症例の電話による相談窓口を開設させていただいております。

当院のスタッフ(循環器専門医)が、緊急症例の受け入れに限らず、外来受診の予約など幅広く対応させていただきますのでご利用ください。

24時間対応させていただきます

TOPICS

肺動脈バルーン形成術(BPA)
23例施行しました

(2020年12月まで)

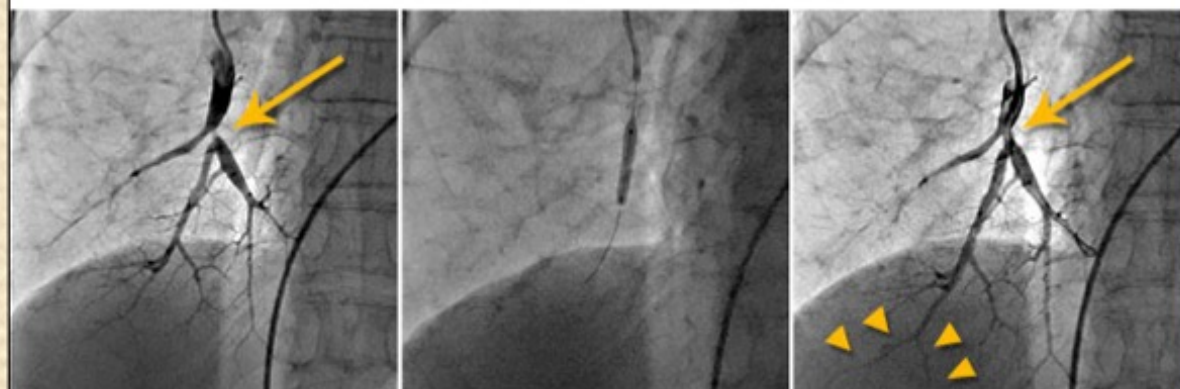
BPAとは

肺動脈バルーン形成術

Balloon Pulmonary Angioplastyの略

- 器質化血栓により肺動脈が慢性的に狭窄・閉塞する慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症に対して、肺動脈の狭窄・閉塞をバルーンで拡張します。
- BPAは外科治療と同様の改善効果があるとされており、また、血栓の局在や、全身状態などから外科手術が困難な症例に対しても実施することができます。
- 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症が疑われる患者さんがいらっしゃいましたら、肺換気血流シンチグラフィーや肺動脈造影等をさせていただきますので、お気軽にご紹介ください。

右A10に対するBPA前後の画像所見



治療前

4mmのバルーンで拡張

治療後

近位部の拡張とともに
末梢の血流の改善を認める

後記

the editor's notes

平素より、ホットラインを含め皆様から多数のご紹介をいただき、誠にありがとうございます。年が明けましてもコロナ感染拡大が治まらず先生方におかれましても大変な日々が続いていると思われまます。今年もスタッフ一同、先生方との連携をさらに深め、地域に密着した、明るく開かれた「循環器内科」をめざします。2021年も引き続き、ご意見・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

藤田 修一

